

花とジェンダーに関して、CHAT GPT に聞く

質問

日本では女性に対して「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」ということわざがありますが、男らしい男性を花でたとえる言葉はありますか。フランス語では、名詞が全て男性か女性かの冠詞がつくと聞きますが、花の多くは女性名詞になるのでしょうか？ 男性名詞の花はありますか？ 日本の女子のサッカーチームにナデシコという花の名前が付けられた経緯を教えてください。

ChatGPT:の回答

① 日本で「男らしい男性」を花でたとえる表現はあるか？

日本には、「立てば芍薬～」のように女性の美しさを花にたとえる表現は多くありますが、「男性」を花にたとえる伝統的表現は非常に少ないのが実情です。

理由としては:

- ・ 古来より、花は「女性美」「儚さ」「可憐さ」「色香」などと結びついてきた。
- ・ 男性を讃える表現は、「松」や「竹」、「岩」や「山」などの堅牢さ・不動さ・威厳といった植物や自然物に向かう傾向が強い。

花にたとえる例(珍しいもの):

- ・ 「牡丹(ぼたん)」は、実は男性的な美しさに使われることもあります(中国の影響)。豪放で堂々とした姿の象徴。
- ・ 「梅(うめ)」: 冬の寒さに耐えて咲くので、忍耐力や芯の強さとして男性にたとえられる場合あり。

ですが、あくまで例外的で、男らしさを花で表現する習慣は日本ではあまり一般的ではありません。

② フランス語では花の名詞は女性名詞が多いのか？ 男性名詞の花はあるか？

はい、ご指摘のとおり、フランス語ではすべての名詞に**男性(le)または女性(la)**の冠詞がつきます。

■ 基本的に花の名前は女性名詞が多いです。

たとえば:

- la rose(バラ)
- la tulipe(チューリップ)
- la marguerite(マーガレット)
- la violette(スミレ)
- la pivoine(芍薬)

→ 女性的な美や香りと結びつくものが多いからです。

■ ただし、男性名詞の花も少数ですが存在します:

- le lys(ユリ) ← 日本では百合は女性の象徴ですが、フランス語では「男性名詞」
- le dahlia(ダリア)
- le narcisse(スイセン) (→ギリシャ神話のナルキッソスが由来)

→ 特に「le lys(ユリ)」は**フランス王家(フルール・ド・リス)**の象徴でもあり、「威厳」や「高貴さ」「神聖」などの意味合いもあるため、むしろ男性的な花としての文化的意味合いがあります。

③「なでしこジャパン」の由来と意味

「なでしこジャパン」は、日本女子サッカー代表チームの愛称です。

■ なでしこ(撫子)とは？

- 「大和撫子(やまとなでしこ)」という言葉に由来します。
- ナデシコは可憐で小さな花ですが、強くたくましく育つため、古くから日本女性の理想像(慎ましさ・強さ・美しさ)の象徴とされてきました。

■ 名称の由来:

- 2004 年、日本サッカー協会が女子日本代表の愛称を公募し、最終的に「なでしこジャパン」が選ばれました。
- 名前に込められた意味は、「しなやかでたくましい大和撫子のように、世界の舞台で花開いてほしい」という願いです。

■ 実績:

- 2011 年、女子ワールドカップで優勝し、「なでしこジャパン」の名は世界に広まりました。

まとめ

観点	回答
男性を花にたとえる表現	伝統的にはほぼ存在しないが、牡丹・梅など例外あり
フランス語の花の性別	大多数が女性名詞だが、le lys など男性名詞もある
なでしこジャパンの由来	「大和撫子」の精神を女子サッカーに重ねた愛称(2004 年命名)

ご希望であれば、「男性を花にたとえた新しい表現を創作してみる」ことも可能です。たとえば「朝顔のように清々しく、咲くときは一瞬の輝き」など。ご興味があればお申し付けください。